

## そらいろ保育園における自己評価 令和3年度

評価項目	評価内容(課題・改善策)
保育目標	ねらいや活動について日々の保育の中で職員同士が連携しながら進め、少人数の良さを活かしていける活動を取り入れていくように心がけた。クラスでの話し合いを多く取れる環境を作り、自発的に現場の保育士が話し合いをできるようになっていくことが保育の質を向上させる上での課題である。
保育について	子どもたち一人ひとりの良さを認め、ありのままの姿を愛情を持って受け止めていくようにし、個性を認め伸ばしながらもいけないことはいけないと伝えること、メリハリを持って接するよう努めた。 日々の保育の中で子どもの成長した部分やできるようになったことなどを保育者同士で伝え合ったりすることで、一人ひとりの理解につながる事ができた。
行事	ねらいを明確にし、保育園で困っている行事だからではなく、子どもたちにこんな経験をさせてあげたい、という思いを大切に行事計画を作成する
研修	研修に参加することで、自分の保育を見つめ直したり、新しい知識や考えを知ることができ、学んできたことの振り返りを大切にし日々の保育に活かすことができた。 自分自身の保育を素直に振り返る姿勢を持ち、それを言葉で表現できるようにし、保育者同士で理解を深めた。
家庭・地域との連携	職員間で同じ対応がとれるよう、伝達を丁寧に行い、保護者が不安に感じていることなど汲み取れるよう落ち着いた対応を心がける。
安全対策	散歩などの園外活動ではリスクを考慮し、安全に活動できるよう、危険箇所を職員間で共有するようにする。
情報発信	ホームページの内容は見直しを行いながら随時更新している。ブログや写真販売にて園の様子や行事の様子を閲覧できるようにし、日々の保育の様子を保護者の方に伝わるような情報発信に努めた。
情報保護	個人情報の保守についての規定を見直すとともに、職員にも教育していくことを責務とし、保育室にある書類等は毎日片付け個人情報の管理に気をつけることを徹底していく。
調理内容	給食が楽しく食べられるように、行事食や季節のメニューを取り入れたたり、献立を伝えて、食べることに興味を持てるようにしている。
健康管理	登園時の視診、検温、保護者への聞き取り、お帳面などで体調や怪我の把握をし、職員間で報告し合い、対応できるようにしている。
事務管理	書類の保存期間など、会社の保存管理についての見直し、今後は規約を作成し、書類の保管、管理を徹底していく。